

事業所における自己評価結果（公表） 【放課後等デイサービス】

公表： 令和4年2月10日

事業所名：みずのき

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			*現在、使用しているプレイルームは40.1㎡あり、国の設置基準である一人当たり2.47㎡以上のスペースを確保しております。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○			*児童10名に対し児童指導員2名という国の人員配置基準以上の人員配置を常に行い、保育士、理学療法士、幼稚園教諭免許など児童分野での専門性を備えた職員を配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○			*建物の構造上、家屋内の段差、入り口の階段などがあり、ご不便をお掛けしております。今後、可能な範囲で皆様が利用しやすい場となるよう改修を検討してまいります。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか			○		*研修等でPDCAサイクルについて改めて学び、業務改善等について、活発な意見が出る会議進行を行っていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			○		*R3年6月に開所したため、今回が初めての自己評価となりました。毎年、実施し結果をホームページ等で公表させていただきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		*今回、ご利用の保護者様と事業所内での評価を行いました。今後、資質向上のためにも第三者による評価を検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			*外部講師を招き研修を行った。また、オンラインでの研修にも参加した。	*外部講師による応用行動分析の研修と運動学習プログラムの研修を開催しました。今後、職場内研修だけでなく外部の専門研修等への参加も検討してまいります。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		*3か月～6か月に1回モニタリングを実施し、職員内で周知後、計画の実施をしている。	*計画作成前にご利用者様と保護者の方からお話を聞かせて頂き、計画作成するよう努めております。ニーズ分析が支援者主体ではなく、ニーズに沿った計画となるよう研修参加の機会を設けていきます。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○		*アセスメントツールに関する研修会を行い、導入の検討を行ってまいります。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			*スタッフそれぞれがに必要な活動内容を考えています。	
適切な 支援の 提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○			*メインプログラムの流れに変更はありませんが、学習プログラムは使用する教材をお一人お一人に合わせた内容となるようにしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			*長期休暇などで活動時間が長くなる際は戸外活動を取り入れています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			*それぞれの課題に応じ、個別や集団の対応で実施しています。	
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			*毎日、朝礼を行い、当日のスケジュール確認を行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			*終了後は、記録と共に現状について出し合い共有している。特記事項については情報共有シートを活用しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			*保護者向け連絡帳だけでなく、記録も残す事で支援の検証、改善に繋がっています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			*3か月～6か月に1回モニタリングを実施し、職員内で周知後、計画の実施をしています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか		○		*水族館等への戸外活動も企画したが、感染症の状況により実施することができなかった。クッキング等で余暇活動を行ないました。	*運動学習プログラム以外に音楽療法や季節に合わせた創作活動を行っています。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			*主に児童発達支援管理責任者が参加しています。		
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			*保護者を通じて行事と送迎等について適宜、連絡調整を行いました。		
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○				*現在、医療的ケアが必要な利用者の方はいらっしゃいませんが、関係機関との連携は図っていきたく思います。必要に応じて、主治医の指示書などをもとに、緊急時の搬送先などの連絡体制を整えます。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○					
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○		*現在、障害福祉サービスへの移行の実績がありませんが、今後、移行する際はサービスに係る担当者会議への出席や書面による情報提供等を行う予定としています。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○		*専門機関との連携が十分ではない為、今後、保健センターとの連携を重視しながら研修等への参加も積極的に実施していきたいと検討しています。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		*児童クラブへ送迎を行い、児童クラブのスタッフの方と情報交換を行なっています。事業所開放など交流する機会を検討していきます。	
	27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○		*現在、参加はしておりませんが、今後、参加を予定しています。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				*連絡帳やお迎えの際に当日の様子などの情報提供を行い、共通理解を図りました。	
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○		*研修参加を予定しており、保護者向けの家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の研修会などを企画していきたいと思ます。		
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			*契約時に揭示書類と共に説明を行っています。運営規程については事業所入り口にも揭示しています。		
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				*連絡帳やお迎えの際にお話を伺い必要に応じて助言を行いました。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		*保護者会の開催や園外活動などの企画、合同研修会の参加などを検討していきます。	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				*苦情解決責任者を配置し、苦情・相談があった際には、スタッフ間で共有し迅速に対応するようにしている。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				*月に1度会報を発行。会報以外におひとりおひとりの様子を書面でお知らせしている。	*SNS等を利用した情報発信などをさらに周知していきたいと思ます。
	35 個人情報に十分注意しているか	○				*契約の際に個人情報に関して説明させていただき内容に沿って対応している。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○			*見てわかりやすい視覚補助的な教材を掲示するなどとしています。	*必要に応じて絵カードなど本人に合わせたコミュニケーションツールを活用していきます。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				*隣接する認定こども園の夏祭り、ハロウィンイベントの際に事業所を開放し、交流を図りました。	*SNS等を利用した情報発信などをさらに周知していきたいと思ます。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		*事業所入り口に各マニュアルを冊子にし保管いたしました。いつでも見ていただけるようにしておりますのでお手すきの際にご覧ください。	*マニュアルを作成し掲示しているが、周知・訓練まで至りませんでした。また、各マニュアルの紹介・周知に努めてまいります。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			*定期的に訓練を実施しています。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				*外部研修への参加し、内部研修を実施してまいります。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○			*外部研修への参加、内部研修を通じて周知を図ります。事業所として身体拘束については原則、身体拘束を行わない支援を行います。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○			*ご利用前に食物アレルギーの有無の確認をさせて頂いております。現在、アレルギー除去の対象となるご利用児はおりませんが、今後、対象となる方がご利用する際は指示書に基づき対応いたします。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○			*事例をもとに事故防止対策を検討していきます。

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。（該当する方に○を記入）